

作品ノート販売、被災地支援

元全国高校文化連盟会長 小山さん



小山卓也さん

小山さんは「仮設住宅、学校で生活する子どもたちはぎりぎりのところで学び、耐えている。今一番痛んでいるのは心。夢と力を与えてくれる本が



小山さんが作製した作品ノート

東日本大震災の被災地に住む子どもたちの本購入を支援しようと、元全国高校文化連盟会長の小山卓也さん(75)＝盛岡市＝が、岩手・三陸の海の風景画などを描いて表紙絵にした作品ノートを作製した。2冊一組で千円。収益金で図書カードを購入し、小、中学校に贈る。

三陸の海を表紙に描き

「一番の栄養になる」と話している。

小山さんは元高校英語教諭で、サッカージャーナルのV・ファーレン長崎でアシスタントコーチを務める原田武男さんの義父。趣味で描いていた風景画を生かして子どもたちを支援しようと、昨年12月から「ブック・エンド・ドリーム・プロジェクト」を始めた。

収益で図書カード 小、中学校に贈る

表紙絵に使用したのは、小山さんが約20年前に描いた大槌湾の風景など油彩、水彩画の8点。ノートには自作のエッセーも添えた。A5判68ページ。プロジェクトのホームページから購入できる。問い合わせは事務局の興版社(電019・624・3456)。

(副島宏城)